

1. 授業の概要(ねらい)

本講では、胎生期、乳幼児期・学童期といった初期発達における主要な現象に焦点を当て、育ちの原点、育つ原動力、人を育てる環境等について検討する。取り上げるトピックスは、発達研究の方法としての観察、生涯発達の道筋、出生を巡る現代的な課題、コミュニケーション、仲間関係、遊び、園から学校への移行、気になる子や障がい児の発達等である。受講者数にもよるが、授業をもとに、受講生が問いを立て、小グループで交流することで、各自が問題意識を深めていく機会としていきたい。

2. 授業の到達目標

- 1)いつ、どのような行動が獲得されるのかを学ぶ。
- 2)発達の道筋を知る。
- 3)障がいについて、発達の観点から理解する。
- 4)行動観察のポイントを学ぶ。

3. 成績評価の方法および基準

授業中に提出する課題(30%)、学習への取り組み(10%)、まとめの試験への取り組み(60%)

4. 教科書・参考文献

教科書

テキストは指定しない。参考文献は適宜紹介する。なお、配布資料はLMSにて配信する予定である。

5. 準備学修の内容

- 1)各回における検討点を1つ導き出す。
- 2)検討点についての答えをグループ交流をふまえてA4、1枚にまとめる。
- 3)まとめに際し、必要な文献を検索して引用することが望ましい。

6. その他履修上の注意事項

発達心理学概論、障害者・障害児心理学、心理学研究法IV(観察法)は関連する科目として、履修を勧める。私語・迷惑行為は厳禁である。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | 1.発達する人と環境との関わりについて学ぶ |
| 【第2回】 | 2.発達を捉える“観察”という研究方法の特徴を知る |
| 【第3回】 | 3.生涯発達の道筋について学ぶ |
| 【第4回】 | 各自の育ちを振り返り、発達について考えたことを検討点として整理し、グループ交流を行う |
| 【第5回】 | 4.出生を巡る現代的な問題について学ぶ |
| 【第6回】 | 5.他者との関係性を築く:初期のコミュニケーションの特徴を学ぶ |
| 【第7回】 | コミュニケーションの中で育まれるものについて検討点を整理し、グループ交流を行う |
| 【第8回】 | 6.仲間の中での育ちについて学ぶ |
| 【第9回】 | 7.遊ぶことと発達の関係性を学ぶ |
| 【第10回】 | 8.園から学校への移行に伴う課題を学ぶ |
| 【第11回】 | 9.子どもに対する気がかり1:気がかりを感じさせる要因について学ぶ |
| 【第12回】 | 子どもに対する気がかり2:気になる子どもの特徴について学ぶ |
| 【第13回】 | 障がいの発達の理解について、これまでの授業をもとに検討点を整理し、グループ交流する |
| 【第14回】 | 10.インクルーシブ教育の中での発達:インクルージョンの理念を実現する教育について、体験をもとにグループ交流する |
| 【第15回】 | 授業のまとめ・試験 |